

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化管外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年10月 福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 講座主任
河野浩二

【研究課題名】

胃腫瘍に対する噴門側胃切除術再建方法についての検討

【研究期間】

平成30年10月～令和5年9月

【研究の意義・目的】

- 胃上部に存在する胃腫瘍（胃癌や胃粘膜下腫瘍）に対しては、胃全摘術や噴門側胃切除術（胃の上部のみを切除する方法）が行われます。噴門側胃切除術は胃全摘に比較して残胃が存在するために、栄養状態は良好であるとされていますが、術後に逆流性食道炎を併発する頻度が高い術式です。当科では噴門側胃切除術後の再建方法に観音開き法（下部食道を胃壁内へ埋め込むことにより、逆流防止機構を備えている術式です）を標準術式としています。本研究は、当科において噴門側胃切除術もしくは胃全摘術を施行した患者さんについて詳細にしらべることで、胃全摘と噴門側胃切除間、また噴門側胃切除術の再建方法間における術後合併症の多寡や、栄養状態、機能障害などの長期成績について比較検討し、噴門側胃切除術における最善の再建方法を見いだすことを目的としています。

【研究の対象となる方】

2002年から2022年7月までの期間に福島県立医科大学附属病院において胃全摘術および噴門側胃切除術を行われた方

【研究の方法】

①切除術式、②再建方法、③アプローチ方法（開腹手術、腹腔鏡手術）、④手術時間・出血量、⑤術後合併症、⑥術後在院日数、⑦栄養状態の推移、⑧体重減少の推移、⑨術後機能障害（逆流性食道炎の有無、術後透視による吻合部狭窄の有無等）、⑩予後についてしらべ、統計学的に再建術式間で差があるかどうかを検討します。

【研究組織】

| | | |
|--------------|---------|-----------|
| （所属）消化管外科学講座 | （職）主任教授 | （氏名）河野浩二 |
| （所属）消化管外科学講座 | （職）講師 | （氏名）佐瀬善一郎 |
| （所属）消化管外科学講座 | （職）准教授 | （氏名）大木進司 |
| （所属）消化管外科学講座 | （職）講師 | （氏名）権田憲士 |
| （所属）消化管外科学講座 | （職）助教 | （氏名）花山寛之 |
| （所属）消化管外科学講座 | （職）助教 | （氏名）渡辺洋平 |
| （所属）消化管外科学講座 | （職）助教 | （氏名）多田武志 |
| （所属）消化管外科学講座 | （職）助教 | （氏名）青砥慶太 |

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計

画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 担当 佐瀬善一郎
電話:024-547-1259 FAX: 024-547-1980 E-mail:z-saze@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 担当 佐瀬善一郎
電話:024-547-1259 FAX: 024-547-1980 E-mail:z-saze@fmu.ac.jp